

◎ 指示があるまで開かないこと。

(平成 21 年 2 月 19 日 10 時 45 分～12 時 00 分)

注 意 事 項

1. 試験問題の数は 55 問で解答時間は正味 1 時間 15 分である。
2. 解答方法は次のとおりである。

各問題には 1 から 4 までの 4 つの選択肢、もしくは 1 から 5 までの 5 つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例 1)では 1 つ、(例 2)では 2 つ選び答案用紙に記入すること。

なお、(例 1)の質問には 2 つ以上解答した場合は誤りとする。(例 2)の質問には 1 つ又は 3 つ以上解答した場合は誤りとする。

(例 1)

101 助産師免許の申請要件で正しいのはどれか。

1. 助産師国家試験に不合格でも保健師国家試験に合格すればよい。
2. 助産師国家試験に不合格でも看護師国家試験に合格すればよい。
3. 看護師国家試験に合格し助産師国家試験に合格すればよい。
4. 看護師国家試験に不合格でも助産師国家試験に合格すればよい。

正解は「3」であるから答案用紙の ③ をマークすればよい。

答案用紙①の場合、		答案用紙②の場合、	
101	① ② ③ ④	101	101
	↓	①	①
101	① ② ● ④	②	②
		③	●
		④	④

(例2)

102 保健師助産師看護師法で規定されている看護師の業務はどれか。2つ選べ。

1. 調剤
2. 診療の補助
3. 診断書の交付
4. 療養上の世話
5. エックス線撮影

正解は「2」と「4」であるから答案用紙の②と④をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

102	①	②	③	④	⑤
			↓		
102	①	●	③	●	⑤

答案用紙②の場合、

102	102
①	①
②	●
③	→ ③
④	●
⑤	⑤

- 1 プロラクチンで正しいのはどれか。
 1. 乳汁産生作用がある。
 2. 下垂体後葉から分泌される。
 3. 血中濃度は分娩終了直後から上昇する。
 4. 乳汁による腺房拡張でプロラクチンの受容体は増加する。

- 2 母子保健施策の変遷の組合せで正しいのはどれか。
 1. 昭和 21 年 ————— 母子健康手帳の創設
 2. 昭和 40 年 ————— 母子保健法の制定
 3. 平成 8 年 ————— 優生保護法の制定
 4. 平成 12 年 ————— エンゼルプランの策定

- 3 風疹の胎内感染で正しいのはどれか。
 1. 出生児の皮膚に水疱が出現する。
 2. 妊娠 12 週以降の感染では生後の発達障害は起こらない。
 3. 先天性風疹症候群では心奇形、眼疾患および難聴がみられる。
 4. 妊娠初期の検査で風疹抗体価が高くても症状がなければ感染していない。

- 4 受精で正しいのはどれか。
 1. 射精直後の精子は受精能を持たない。
 2. 先体反応が起こるのは射精時である。
 3. 排卵は FSH サージ作用によって起こる。
 4. 排卵後の卵胞にはグラーフ卵胞が形成される。

5 胎盤を通過しにくいのはどれか。

1. IgG
2. グルコース
3. インスリン
4. ダイオキシソ

6 妊娠期の変化で正しいのはどれか。

1. 卵巣は約3倍に増大する。
2. 膣分泌物はアルカリ性を呈する。
3. 膣上皮のグリコゲン含有量は減少する。
4. 子宮筋層内では筋線維の増殖が起こる。

7 骨産道で正しいのはどれか。

1. 骨盤腔で最も広い部分は出口部である。
2. 仙骨の形態で直線型は回旋異常の原因となる。
3. 骨盤入口面が扁平型の骨盤では恥骨弓は狭い。
4. 骨盤軸は骨盤各面の横径の midpoint を結んだ想像線である。

8 分娩体位と陣痛との関係を仰臥位の場合と比較した。

正しいのはどれか。

1. 側臥位の方が陣痛の強度が増加する。
2. 側臥位の方が陣痛の頻度が増加する。
3. 立位の方が陣痛の強度が減少する。
4. 立位の方が陣痛の頻度が増加する。

- 9 胎児心拍数モニタリングで正しいのはどれか。
1. 心拍数基線の正常範囲は 100～140 bpm である。
 2. reassuring FHR pattern では胎児の状態が良好である。
 3. 一過性頻脈では振幅 10 bpm 以上が 30 秒以上持続する。
 4. non-reassuring FHR pattern では脳性麻痺の発症率が約 10% である。
- 10 母乳で正しいのはどれか。
1. 母乳に含まれる糖質の約 95 % はショ糖である。
 2. 血中プロラクチン値は産後 6 か月で非妊時に戻る。
 3. 児の吸引刺激はオキシトシンの分泌亢進に影響しない。
 4. 母乳に含まれるラクトフェリンは児の腸管内で感染を防御する。
- 11 妊娠高血圧症候群で正しいのはどれか。
1. HELLP 症候群は病型分類の 1 つである。
 2. 正常妊娠よりも血液希釈の程度が大きい。
 3. 妊娠 33 週で発症した症例は早発型と診断できる。
 4. 利尿薬は肺水腫や心不全の場合を除き使用しない。
- 12 羊水過多で考えられる胎児異常はどれか。
1. 肺低形成
 2. 尿道閉鎖
 3. 消化管閉塞
 4. 腎形成不全

13 子宮復古不全のリスク因子でないのはどれか。

1. 初産
2. 早産
3. 子宮筋腫
4. 卵膜遺残

14 乳児の鸞口瘡で正しいのはどれか。

1. 直接授乳を中止する。
2. 抗真菌薬を塗布する。
3. 原因はアスペルギルスである。
4. 口腔粘膜や舌に赤色の偽膜を認める。

15 呼吸窮迫症候群で正しいのはどれか。

1. 女児に多い。
2. 肺胞の表面張力は低下している。
3. 肺表面活性物質は増加している。
4. 破水後時間がたつと発症頻度は低下する。

16 正常新生児と比較した低出生体重児の特徴で正しいのはどれか。

1. 熱放散が多い。
2. 換気効率が高い。
3. 気道抵抗が小さい。
4. 褐色脂肪細胞が多い。

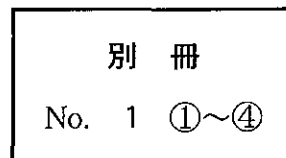
17 突発性発疹で正しいのはどれか。

1. 主に3歳児が感染する。
2. ヒトパルボウイルスによる。
3. 紅い斑状丘疹である。
4. 発疹の出現後も高熱が続く。

18 胎児の超音波検査の写真(別冊No. 1①~④)を別に示す。図の+印は計測する径線端を表す。

推定児体重の算出の指標となるのはどれか。

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④



19 夫とともに健康診査に来院した打撲痕のある妊婦に対し、助産師はDV(ドメスティック・バイオレンス)を疑った。

適切な対応はどれか。

1. 夫を診察室に呼び打撲の理由を尋ねる。
2. 夫のいないところで妊婦に相談機関について情報提供する。
3. 妊婦には告げずに配偶者暴力相談支援センターに通報する。
4. 妊婦にDV(ドメスティック・バイオレンス)の被害者であると説明する。

20 18歳の女子。膣分泌物増量と不正出血とを主訴に来院し、性器クラミジア感染症と診断された。妊娠は希望していない。

保健指導で適切なのはどれか。

1. 経口避妊薬の服用を勧める。
2. コンドームの使用を勧める。
3. 不妊になる可能性は低いと説明する。
4. パートナーは無症状なら感染していないと説明する。

21 28歳の女性。無月経を主訴に来院した。「これまで、月経周期は28日型で順調であったが、月経の予定日より1週間が過ぎても未だ月経がない」と言う。免疫学的妊娠反応は陽性であった。

正常な所見はどれか。

1. 腹壁から子宮体が触知できた。
2. 子宮の大きさが手拳大であった。
3. 超音波ドプラ法で胎児心音を聴取できた。
4. 超音波検査で子宮内に胎嚢が確認できた。

22 24歳の妊婦。勤務歴1年の会社員。「夫は自営業で自宅で仕事をしていますが、私は育児休業が取れますか」と質問があった。

説明で正しいのはどれか。

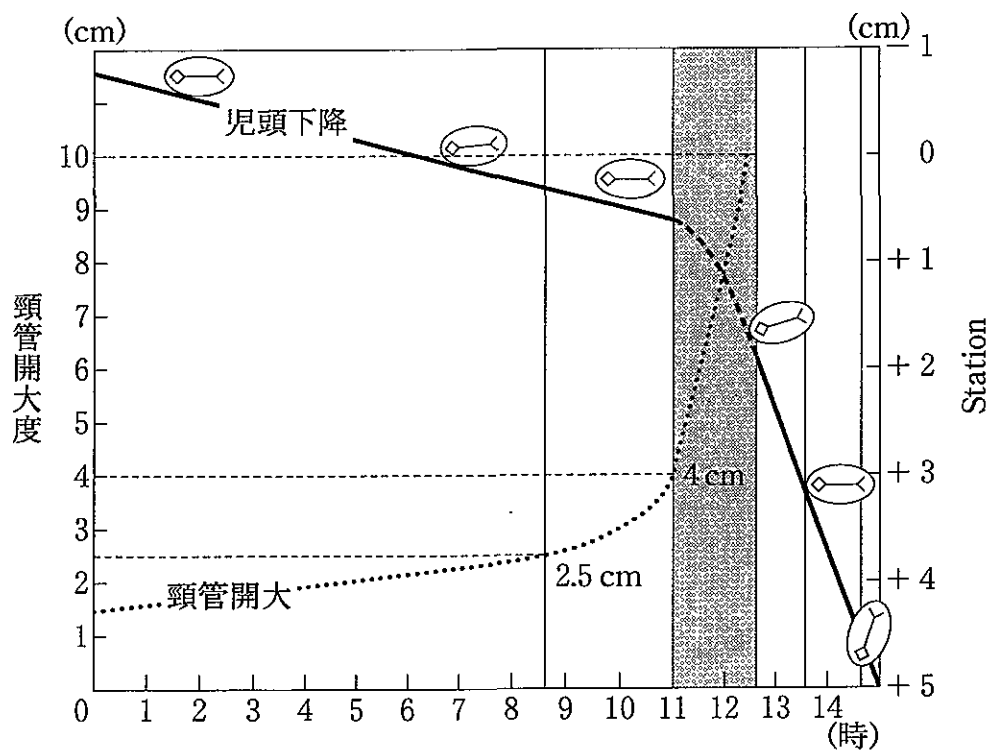
1. 「女性だから取れます」
2. 「勤務歴が短いので取れません」
3. 「あなたが労働者なので取れます」
4. 「あなたの夫が家にいるので取れません」

23 32歳の初産婦。妊娠26週5日。血圧138/89 mmHg。尿蛋白2+、尿糖2+、浮腫2+、Hb 10.5 g/dl、Ht 31%。血糖値は空腹時90 mg/dl、食後2時間150 mg/dl。子宮頸管長35 mmで自覚できる子宮収縮はみられなかった。

現在の病態のアセスメントで正しいのはどれか。

1. 切迫早産
2. 妊娠貧血
3. 妊娠糖尿病
4. 妊娠高血圧症候群

24 パルトグラムを示す。



分娩経過のアセスメントで正しいのはどれか。

1. 額位
2. 高在縦定位
3. 低在横定位
4. 不正軸進入

25 分娩体験の想起で適切なのはどれか。

1. 想起は産褥5日に実施する。
2. 褥婦が分娩経過を誤解している場合には修正する。
3. 褥婦が分娩を肯定的に受け止めている場合には効果がない。
4. 褥婦が分娩を否定的に受け止めている場合には忘れるよう促す。

26 出生直後の全ての新生児に行うケア(ルーチンケア)でないのはどれか。

1. 保温をする。
2. 足底を刺激する。
3. 気道を開通させる。
4. 皮膚を乾燥させる。

27 破水後6時間、陣痛開始から4時間。体温37.6℃、脈拍102回/分、血圧122/86 mmHgである。血液検査は白血球16,700/ μ l、CRP 3.5 mg/dlである。分娩監視装置でreassuringである。陣痛間欠4分、発作40~60秒。第2頭位で現在小泉門は10時にある。少量の黄緑色の羊水がパッドに付着している。

今後予測されるのはどれか。

1. 子 癇
2. 回旋異常
3. 微弱陣痛
4. 胎児機能不全

- 28 オキシトシンによる分娩誘発法で正しいのはどれか。
1. 5%ブドウ糖液 500 ml に 5～10 U のオキシトシンを溶解する。
 2. 投与速度は 20 mU/分程度から開始する。
 3. 投与量が多くなると利尿作用が出現する。
 4. 反応不良な場合にはプロスタグランジンを併用する。
- 29 産褥期のマイナートラブルとその処置の組合せで誤っているのはどれか。
1. 乳頭亀裂 ————— 局所の清潔
 2. 乳汁うっ滞 ————— 搾乳
 3. 外陰部血腫 ————— 局所の圧迫
 4. 産褥期の尿閉 ————— 下腹部の冷湿布
- 30 正常分娩後の経産婦における産褥経過で正常から逸脱しているのはどれか。
1. 産後 12 時間、会陰縫合部の拍動痛
 2. 産褥 1 日、子宮底臍下 2 横指
 3. 産褥 2 日、強い後陣痛
 4. 産褥 20 日、少量の血性悪露

- 31 子宮筋腫合併妊娠で正しいのはどれか。
1. 癒着胎盤の頻度が高くなる。
 2. 子宮復古不全の頻度は変わらない。
 3. 子宮頸部筋腫では微弱陣痛を起こしやすい。
 4. 子宮体部筋腫では産道通過障害を起こしやすい。
- 32 生後2週の新児。母乳栄養である。
栄養の追加を考慮すべき徴候はどれか。
1. 1日11回授乳している。
 2. 出生時体重に達している。
 3. 排尿回数が1日7、8回である。
 4. 退院後から1日当たりの体重増加が15gである。
- 33 高校2年生の女子を対象とした健康教育を行うこととした。
内容で優先度が低いのはどれか。
1. 性感染症予防
 2. 極端な食事制限の影響
 3. 二次性徴に伴う体の変化
 4. 喫煙による健康への影響

34 妊婦に実施可能な予防接種はどれか。

1. 麻 疹
2. 風 疹
3. ポリオ
4. インフルエンザ

35 正しいのはどれか。

1. 未熟児訪問指導は市町村が主体となって行う。
2. 妊産婦訪問指導は市町村が主体となって行う。
3. 新生児訪問指導を行うのは助産師でなければならない。
4. 新生児訪問指導は生後 30 日以内に行わなければならない。

36 産科病棟における新生児の感染予防対策で適切なのはどれか。

1. 毎日沐浴を実施する。
2. 母と子の皮膚接触を推奨する。
3. 新生児室で無菌的管理とする。
4. 授乳ごとの乳頭消毒を奨励する。

37 正しいのはどれか。

1. 助産師が救命のために医行為を行うことは違法である。
2. 助産師は医師の指示の下に行った行為に責任を負わない。
3. 産科の医療事故訴訟で最も多いのは「母親の死亡」である。
4. 助産師には裁量性が認められるとともに注意義務がある。

38 更年期女性へのホルモン補充療法によって改善されるのはどれか。2つ選べ。

1. 高血圧
2. 高血糖
3. 子宮筋腫
4. 骨粗鬆症
5. 血管運動神経性障害

39 妊娠 20 週で大球性正色素性貧血を認めた。

不足している可能性が高いのはどれか。2つ選べ。

1. 鉄
2. 葉酸
3. カルシウム
4. ビタミン B₆
5. ビタミン B₁₂

40 経口避妊薬によって発生率が低下するのはどれか。2つ選べ。

1. 乳 癌
2. 卵巣癌
3. 外陰癌
4. 子宮体癌
5. 子宮頸癌

次の文を読み 41～43 の問いに答えよ。

25 歳の経産婦。妊娠 36 週の妊婦健康診査で外陰部と尿との細菌培養で B 群溶血性レンサ球菌陽性であった。38 週 0 日、午前 1 時に破水感があり入院した。

41 入院後に妊婦へ行うのはどれか。

1. セフェム系抗菌薬の内服
2. インドメタシン坐薬の投与
3. クロラムフェニコール腔錠の投与
4. ペニシリン系抗菌薬の点滴静脈内注射

42 同日夕方から陣痛が強くなり、午後 8 時に子宮口が全開大した。妊婦の体温は 38.7℃ であった。そのまま分娩となり頭位で 2,800 g の男児が出生した。生後 1 分の児の写真(別冊 No. 2)を別に示す。生後 1 分では児は泣いていた。心拍数は 160/分で手足を動かし、口腔内吸引で咳をしている。羊水混濁はない。

生後 1 分の時点で児に対して行う処置で正しいのはどれか。

1. 口元で酸素を投与する。
2. マスクとバッグとで用手換気する。
3. 胃管を挿入する。
4. 胸骨圧迫をする。

別 冊

No. 2

43 生後3時間。児は体温 37.2℃。心拍数 155/分、呼吸数 45/分。よく泣いて元気だったので母子同室となった。生後6時間と9時間とでは児の状態に変化はなかったが、生後12時間に「少し息を止めがちになる」と母親が児を抱いて新生児室にきた。心拍数 195/分。体温 36.0℃で末梢冷感を認める。チアノーゼはないが、呼吸は不規則で時々無呼吸となり刺激で回復する。

児への対応で最も重要なのはどれか。

1. 酸素投与を開始する。
2. 小児科医の診察を依頼する。
3. 産着を1枚重ねて保温する。
4. 白血球数とCRP値の測定を行う。

次の文を読み 44～46 の問いに答えよ。

22歳の女性。大学4年生で1か月後に卒業予定である。無月経と、2日前から外陰部に疼痛と水疱とが出現したため来院した。2年前に性器ヘルペスに感染した既往があり、現在のパートナーは初感染時の人とは異なるという。

診察の結果、性器ヘルペスが再発しており妊娠反応は陽性であった。

44 性器ヘルペスの説明で正しいのはどれか。

1. 「再感染はまれなことですよ」
2. 「治癒には約3か月かかります」
3. 「再感染なので症状は重くなります」
4. 「抗ウイルス薬の内服が必要になるでしょう」

45 女性は「またヘルペスになってしまった。せっかく妊娠したのにこれからどうなるのですか」と尋ねた。

再発型ヘルペスを持つ妊婦の経過で正しいのはどれか。

1. 20%前後が流産する。
2. 産道感染よりも胎内感染が多い。
3. 経膈分娩は不可能である。
4. 新生児ヘルペスを合併するのは5%弱である。

46 女性はパートナーと婚約しており、両親に結婚と妊娠とを伝える予定だという。「子どもにヘルペスがうつったらどうしよう。ヘルペスのことを彼に伝えたいけど不安。どうしたらよいのかわからない」と泣き出した。

対応で最も適切なのはどれか。

1. 今回の妊娠はあきらめてヘルペスの治療をするよう勧める。
2. 女性の実家の両親に現状を伝えて今後のことを相談するよう勧める。
3. パートナーにヘルペスのことは伝えずに妊娠継続することを勧める。
4. 女性がパートナーに現状を伝えて2人で話し合える方法をともに考える。

次の文を読み 47～49 の問いに答えよ。

19歳の初妊婦。大学2年生。妊娠19週2日。身長165 cm、体重48 kg(非妊時45 kg)。今回の妊娠を機に2年間交際していた21歳の大学生と結婚した。「乳首の色がすごく濃くなって自分の体じゃない感じがする。おりものの量が最近増えてきて気持ち悪い」と話す。膣分泌物は無色透明で粘稠性があり、外陰部の発赤と掻痒感とはない。子宮底長15 cm、児心音146 bpm。血圧102/58 mmHg、尿蛋白(-)、尿糖(-)。Hb 11.0 g/dl、Ht 34 %。

47 妊婦への説明で正しいのはどれか。

1. 「貧血の傾向がありますね」
2. 「妊娠すると膣の分泌物が増えますよ」
3. 「妊娠週数のわりに子宮底長が小さいですね」
4. 「乳首や乳輪の色が変わったのはリビド着色といいます」

48 「あまり太りたくないのですが、お惣菜を買うときに何を買っていいか困ってしま
うんです。もう3 kg も太ってしまったんです」と話す。

指導で適切なのはどれか。

1. 体重増加は正常である。
2. サプリメントで栄養を補う。
3. 児の成長のためにもっと体重を増やす。
4. 副菜の量を増やして主食の量を減らす。

49 妊婦は「結婚できたことはうれしいし、2人で赤ちゃんのことを話すのは楽しいです。でも体がだるくてお産まで頑張れるか心配です。学校もできるだけ続けたいけれど自信がありません。彼はこれまでと変わらず楽しそうで、どうして自分だけがこんなに大変なのかと思うこともありますが、彼には言えません」と話す。

アセスメントで適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 妊娠を肯定的に捉えている。
2. 学業の中断について不安がある。
3. 夫とのコミュニケーションは十分にとれている。
4. 本人だけでなく夫にも妊娠・出産に対する心理的準備を促す必要がある。
5. この夫婦関係が長引くとDV(ドメスティック・バイオレンス)のリスクが高まる。

次の文を読み 50～52 の問いに答えよ。

35歳の1回経産婦。妊娠中から下腿に静脈瘤があった。今回3,018gの女児を分娩した。分娩経過に異常はない。出産当日から24時間母子同室で母乳育児を行っている。産褥3日。授乳時に下肢の疼痛の訴えがあり、左下腿に腫脹、発赤、熱感および静脈の怒張を認めた。

50 この徴候への対応で正しいのはどれか。

1. 下腿の温浴
2. ガードルの着用
3. 下腿のマッサージ
4. 弾性ストッキングの着用

51 薬物治療が行われることとなった。褥婦から「これまでどおり母乳育児は続けられますか。薬は赤ちゃんに影響しないのですか。足も痛いです」と質問があった。

対応で適切なのはどれか。

1. 「薬物治療が始まるので人工乳に代えましょう」
2. 「母乳は続けられるので添い寝で授乳してみましょう」
3. 「母乳は続けられるので椅子に座って授乳をしましょう」
4. 「赤ちゃんを新生児室に預け3時間ごとに授乳室で母乳をあげましょう」

52 退院後2週、褥婦から乳房痛があり発熱していると電話があった。電話の問診から、感冒様症状はないが倦怠感が強く、体温は39.0℃で、右乳房外側に硬結と発赤、乳管口に白斑が1か所あるという。

対応で適切なのはどれか。

1. 受診を勧める。
2. 休養のため授乳を中断する。
3. 硬結部位の温罨法を勧める。
4. 自己乳房マッサージを勧める。

次の文を読み 53～55 の問いに答えよ。

病床数 30 床の産婦人科病院。42 歳の助産師が病棟師長として病棟の管理および運営を行っている。病棟の助産師の人員構成は、経験 1 年目 4 人、2～4 年目 5 人、5～9 年目 8 人、10 年目以上 5 人である。

53 人材育成における病棟師長の責務で適切なのはどれか。

1. 助産師個々の目標を決定する。
2. 新人助産師のプリセプターになる。
3. 分娩室には経験年数 5 年以上の助産師を配置する。
4. 病院外で行われる研修会に参加できる環境を整える。

54 母乳ケア外来を開設し、病棟の助産師 1 名が毎日担当することとなった。適切なのはどれか。

1. 集団指導を中心とする。
2. 対象は出産後 1 年までの母親とする。
3. 乳房ケア以外に心理的サポートも行う。
4. 断乳に関する相談は産科外来を紹介する。

55 回旋異常のため帝王切開術で分娩した褥婦から「自分の分娩の経過を詳しく知りたい」と求められた。

褥婦への対応で適切なのはどれか。

1. 分娩時の経過記録の写しを渡す。
2. 理由によっては情報提供をしない。
3. 診療記録ではない助産録は情報提供しない。
4. 口頭および文書で分娩の経過について説明する。